

社会的認証報告書（科目認証制度）

（科目区分：「政策得意分野づくり」）

科目名：多文化共生論	担当者：杉本 星子
科目グループ：文化政策	

※科目区分が「政策得意分野づくり」の場合に記載されます。

基準項目	評価要素	コメント・評価	評価
基準 1-1	・ 科目を設置する目的として、明確な教育目標と育成する人材像を説明しているか。	科目説明書より地域公共政策士の学習アウトカムを踏まえた具体的な教育目標、人材像が説明されていることを確認した。	A
	・ 当機構が定める学習アウトカムの定義から、学習アウトカムの定義が定められているか。	科目説明書より地域公共政策士の学習アウトカムの定義から学習アウトカムが設定されていることを確認した。	A
基準 2-1	・ 学習アウトカム達成の視点から科目で実施する教育内容について説明されているか。	科目説明書より学習アウトカムにある、グローバル化する世界と地域社会との関係に関する知識、対象とする政策の評価・分析、活動を担う主体のあり方に関する知識、課題解決のためのプログラムへの適用や提示ができる技能のあり方、政策資源の調達に関する職務遂行能力について、文化と経済への理解を深めながら、対象とする政策について体系的に学習できる教育内容であることを確認し、学習アウトカムを踏まえた具体的な教育内容について説明されていることを確認した。	A
	・ 教育要素の科目要件に沿って具体的な教育内容が説明されているか（基準 2-2 の科目内容と合わせて評価する）。 ・ 科目別の評価要素 教育内容に関する評価目安として、教育要素に基づく科目要件の確認項目のうち、 1 項目の欠損で指摘事項、2 項目の欠損で改善勧告、3 項目の欠損で保留とする。 ・ 地域政策について触れているか。 ・ A：対象とする分野の政策過程に関する制度理解として関係する法律、制度、組織などについて解説しているか。 ・ B：対象とする分野を推進するためのコミュニケーション法やファシリテーション手法などの技法について解説しているか。 ・ C：対象とする分野の政策過程として、分野に関するケースメソッド、政策形成、意思決定のあり方や分析方法について解説しているか。 ・ A、B、C いずれか 1 つ以上の内容をふまえ、講義時間において 2/3 以上が上記内容についてふれている科目か。	「政策得意分野づくり」の教育要素に対して、地域政策に関する教育内容、対象とする政策に関する政策過程に関する組織や政策主体のあり方、対象とする政策のケースメソッド（又は事例研究）、政策形成や意思決定のあり方について地域社会における多文化共生の事例を多く交えながら触れており、「政策得意分野づくり」の教育要素に該当した教育内容となっている。次に、講義内容についても 2/3 以上が教育要素に該当する内容であり、科目認証の教育要素に沿った教育時間が確保されていることを確認した。 また、「政策得意分野づくり」の科目グループ「文化政策」の科目要件に照らして、その内容が一致していることもあわせて確認した。	A

	・学習アウトカム評価に関する設問が適切に設定されているか。		
基準 2-2	・ 科目の教育内容について、時系列にそった説明ができていますか。	科目説明書及び添付資料より、科目の教育内容について、時系列に沿った説明がされていることを確認した。	A
	・ 科目の教育内容を踏まえて、学習アウトカムの自己評価に関する設問が適切に作成されているか。	科目に設定した学習アウトカムと科目内容を踏まえた具体的な設問が設定されていることを確認した。	A
基準 2-3	・ 学習アウトカムの達成という視点から授業形式について説明されているか。	科目説明書及び添付資料より、これまでに確認した科目内容に対応した講義形式が説明されていることを確認した。	A
	・ 授業形式と科目担当者の資質が説明されているか。	科目説明書及び基礎データより、講義内容と科目担当者の専門性が一致していることを確認した。 なお、基礎データについては認証済の初級プログラムの提出データより確認した。	A
基準 2-4	・ 対象とする学習者が想定されているか。	科目説明書及び添付資料（資料①）より、科目の対象者を明確に定めていることを確認した。	A
	・ 想定した学習者に対応した開講形態がとられているか。	科目説明書及び添付資料（資料①）より、上記の対象者に対応した開講形態がとられていることを確認した。	A
	・ 学習者が科目を受講する手続きについて説明がされているか。	科目説明書及び添付資料（資料②）より、科目受講者の登録方法などの手続きが定められていることを確認した。 なお、大学コンソーシアム京都ホームページより単位互換性における登録方法や手続きについてもあわせて確認した。	A
基準 3-1	・ 成績評価の基準と方法を定めているか。	科目説明書及び添付資料（資料①）より、成績評価の基準と方法が定められていることを確認した。	A
	・ 成績評価の基準と方法を明文化して学習者に周知する方法が定められているか。	添付資料シラバスに、成績評価方法が明示され周知されていることを確認した。	A
	・ 成績証明書等の発行方法が定められているか。	科目説明書及び添付資料（資料②）より成績証明者の発行方法が定められていることを確認した。	A
基準 3-2	・ 異議申立の仕組みが明文化されているか。	科目説明書及び添付資料（資料②・③）より、異議申し立てのしくみを明文化していることを確認した。	A
	・ 異議申立の制度は、公正な判断を保証できる仕組みとなっているか。	科目説明書及び添付資料（資料②）より確認した異議申し立てのしくみは、第三者性を確保しており公正な判断を担保したしくみであることを確認した。	A
基準 4-1	・ 科目を継続的に管理・運営する体制が整えられているか。 ・ 管理・運営する体制の中で、科目を点検し、改善する仕組みが説明されているか。	科目説明書より、京都橋大学現代ビジネス学部にて科目を運用し、改善をはかっていく仕組みであることを確認した。	A

評価区分：AAA：基準を満たし、実施機関の特色を活かした優れた取り組みが実施されている。AA：準を満たし、優れた取り組みが実施されている。A：基準を満たしている。B：概ね基準を満たしているが、部分的な指摘内容がある（指摘事項に相当する点がある）。BB：部分的に基準を満たしているが、改善すべき内容がある（改善勧告に相当する点がある）。BBB：基準を満たしていない（保留に相当する内容がある）。

認証結果

評価結果	適合
認証期間	2018年4月1日～2025年3月31日
科目認証番号	K180018
指摘事項	
勧告事項	
評価すべき点	
助言・課題	

以上